

NHK学校放送番組 録画案内

NHK学校放送番組は、学校活動の中でおおいに活用できるものです。
今年度、当センターでは下記の番組を録画収録しております。

小学校		中学校	
1年 国語	あいうえお	低学年	教科を横断した内容になっています。
生活	あしたもげんきくん	音楽	まちかど・レ・ミ
算数	さんすうみつけた	中学校	教科を横断した内容になっています。
道徳	ざわざわ森のがんこちゃん	10minボックス	理科、社会、技術のトピックを扱います。
2年 生活	キッズチャレンジ	障害児学級	グルグルバックン
算数	さんすうすいすい	いってみよう やってみよう	
道徳	あつまれじゃんけんぽん		
3年 社会	このまちだいすき		
理科	ふしぎのたまご		
4年 社会	くらし発見		
理科	ふしぎコロンブス		
5年 社会	なぜなぜ日本		
理科	わくわくサイエンス		
6年 社会	歴史たんけん		
理科	しらべてサイエンス		

平成9年度委託ビデオ作品完成

「いいね金沢」シリーズ第3弾

*4月中に各小学校に配布の予定です。

分類番号	題名	時間	内 容 (利用の場面・教科・単元名)
P2 220	「用水が今も 生きるまち」	11分	町の景観、自然の一部として人々に親しまれている用水。市役所の人の願いやトンネル作りに参加された人の話もあり、身のまわりの用水を見直す契機になることを願った作品。 総合 道徳 社会 3年「みんなでつくるまち」4年「郷土を開く」等
P2 447	「史跡を生かした 町づくり」	9分	伝統が今も息づく城下町金沢。市内に残されている史跡の中から銭屋五兵衛、犀星、鏡花、秋声にまつわるものを紹介することにより、歴史への関心を高める作品。 総合 国語 社会 4年「郷土を開く」6年「郷土の歴史」等
P2 448	「公民館が 生きるまち」	10分	公民館の昼夜の活動の様子を概観し、主事さんの願いを知ることにより、自分の地域の公民館活動について積極的に調べるきっかけとなることを願った作品。 社会 3年「明るくゆたかな暮らし」等
P2 449	「住む人に やさしいまち」	11分	金沢市を自然・歴史、文化・教育、福祉・交流の3点を大切にす るまちとして取り上げた。人々の生き生きとした表情や笑顔に ふれ、自分たちの地域や生活を見つめ直すことができる作品。 総合 道徳 特活 社会 3年「みんなでつくる町」「わたしたちの市のようす」 6年「わたしたちの生活と政治」等

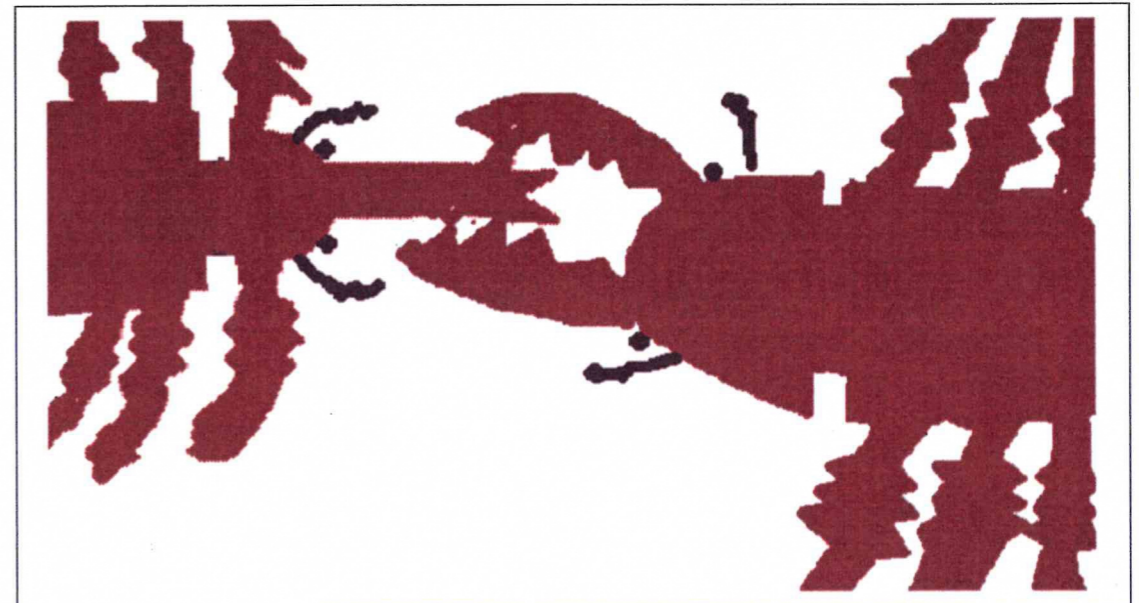
あなたもつくってみませんか

～パソコン教材・ビデオ教材～

平成9年度委託教材作品が完成しました。ご協力くださった先生方ありがとうございました。平成10年度も多くの先生方の応募をお待ちしていますので、よろしくお願ひします。詳しくは、各学校にお渡ししました掲示用資料を見てください。

発行者 金沢市教育センター
北川 彬 人
〒920-0855 金沢市武蔵町14番31号
TEL (221)7949・1642 FAX (221)6800
URL <http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/ed-center/>
e-mail ed-center@city.kanazawa.ishikawa.jp

金沢市教育センターだより



第129号

平成9年度 コンピュータ芸術展 最優秀作品

「くわがたのたたかい」 金沢市立湯涌小学校 3年 高田省吾 平成10年4月30日発行

「教育学」の語源について

教育センター所長 北川 彬 人

教育学を意味する(Pedagogy)という言葉の語源は、ギリシャ時代に子どもたちを学校までつれてゆく役目を果たしていた「奴隷」にあるそうです。

当時の学校には、音楽なり美術なりの時間があって、子どもたちにそれぞれ専門的に教える教師がいました。しかし、「教育学」という語が、そういう専門教師の仕事から生まれたものでなかったことの意味を問うてみるべきです。

学校まで無事に子どもたちを送りどけて、また連れて帰るといふ役割を奴隷がはたしていました。子どもに連れ添って歩いたガードマンであり、引率者であった奴隷の仕事から教育学という語が生まれたと思うと、教師の仕事の本質について考えさせられます。

今日、反乱する子どもたちが跡を絶ちません。子どもたちの「様変わり」は、数々の教育課題を大人たちに突き付けています。

学力万能主義みたいなものがはびこってしまった学校教育の体制の中で、教師の専門家としての知識や技術を教えることに重きを置いてしまってきたのではないかという反省も21世紀に向けての教育改革の視点に含まれています。

いつも子どものそばについて見守る。そして、子どもがいま何を求めているのか、何が必要なのかを受け止め、そのことに応えていくという気持ちを21世紀を生きる子どもたちのために、社会全体の大人たちが持ち続けていきたいものです。

センターの組織(事務分担)

所 長	(総 括)	北川彬人
所長補佐	(管理、渉外)	富田 武
庶 務	(予算、執行)	上嶋祥明
教育相談	(相談、研修調査研究)	田野正昭、西 雅子、上農 肇、古市俊郎、清水育子
	(適応指導教室)	亀田勇人、嶋外美雄、永井映子
	(家庭訪問相談)	亀田勇人、澤井 弘、佐野隆子
視 聴 覚	(研修、調査研究、教材作成)	荒井秀典、日光豊錦、松永法子、金岡弘宣
	(受付、貸出)	乙 真永
	(搬 送)	嶋 貞雄

教育相談部

相 談

次のような様々な問題の相談に応じます。

不登校・いじめ・学業不振・LD(学習障害)・発達障害・聴覚言語障害(補聴相談)・自閉症・非行・進路・しつけ・その他教育上の問題全般

対象

金沢市内に在住する幼児・小・中学生とその保護者・教職員

相談の方法

電話相談 ☎ 221-7949 FAX 221-6800

いじめ相談テレフォン

☎ 262-1110 FAX 263-7830

面接相談

(事前に電話での予約が必要です。)

学校コンサルテーション

(先生方からの相談に応じます。)

定期通所による相談

(児童・生徒とその保護者に

個別援助を行います。)

家庭訪問相談

不登校児童生徒に対して訪問相談による援助を行います。

対象 金沢市内在住の小・中学生及びその保護者

相談場所 各家庭及び近隣の施設

※今年度から新しくスタートした事業です。

詳しくは市教育センター ☎ 221-7949 にお問い合わせください。



適応指導教室 「そだち」

不登校児童生徒の居場所を提供し学校復帰や自立のための援助を行います。

対象 金沢市内在住の小・中学生

受け入れの手続き

面接申し込み ☎ 221-7949 → 受理面接 → 保護者の申請 → 学校長の同意を得て受け入れ決定

開設日 毎週月曜日から金曜日

活動・援助の内容

- ♣ 児童・生徒の特性に応じた個別・小集団での活動
- ♣ 保護者や学校への援助

研 修

子どもたちの理解につながる研修会を開催します。

児童生徒理解研修会

中学校生徒指導担当者研修会

カウンセリング講座Ⅰ

カウンセリング講座Ⅱ

障害児学級担当者実践研修会

障害児学級担当者専門研修会

※研修会の日時・内容については研修会一覧でご確認ください。

※時間外相談について

- ・電話相談(いじめ相談も含む)は月・木曜日は夜8時まで受け付けています。
- ・障害児教育についての相談は土曜日にも受け付けます。(前もって予約が必要です。)

視聴覚部

今年度の研修会

- ①コンピュータ操作技能(慣れる)
コンピュータ初級基本
表計算活用
インターネット活用
指導者養成(3日間)
- ②コンピュータ教材作成(創る)
教材作成短期
教材作成長期(7日間)
マルチメディア教材作成(7日間)
- ③コンピュータ活用(使う)
コンピュータ活用実習
A 図工美術
B 音楽
C 理科
コンピュータ授業事例(小)
- ④情報活用能力の啓発、普及(広がる)
出張研修
情報教育講演会
- ⑤社会教育関係
ビデオ活用(2日間)
16ミリ映写機(2日間)

新たに「コンピュータ活用実習」の名称で3講座を設けました。従来半日だった「図工美術」「音楽」の授業活用研修会を全日とし、より充実した実習を計画しております。

「出張研修」では、コンピュータ新規導入校を中心に各校の要望を取り入れた研修会を行い、授業実践へと結びつけていただこうと考えております。

「初級基本」は Windows95、一太郎8、インターネットの基本操作を全日で計画しております。初めてコンピュータに取り組む方はぜひ応募下さい。



研修一覧をご覧になり、ふるってお申し込み下さい!

教材・機材の利用について

教材・機材

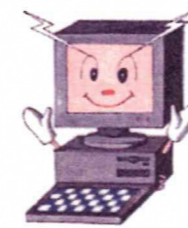
☆予約は、貸出希望日の前々日までに!

前日の予約は、準備・点検の関係上お受けできません。

☆貸出の延長希望は、回収日の前日までに必ずお電話を!

☆受け渡しは、すべて校務士室(学校関係)

事務室(社会教育関係)までです。



ノートパソコン

予約希望を昨年度と同様に年度当初・学期末にまとめてお受けします。学校単位で書類を提出してください。センターで調整後、各学校に貸し出しいたします。上記で残った台数については、従来通り学期途中でも電話で受け付けます。

金沢市教育センター
221-7949
電話で予約・申込

貸出の約束に御協力を!